

農林水産商工常任委員会資料

(令和7年11月21日)

項 目

ページ

- 県外企業の立地決定等について
【立地戦略課】 2
- 「とっとり産業未来フェス」の開催結果について
【産業未来創造課】 3
- 令和7年度鳥取県障がい者雇用推進会議の開催結果について
【雇用・働き方政策課】 5
- 第45回全国障害者技能競技大会（アビリンピック）での受賞について
【雇用・働き方政策課】 6
- 令和7年度スーパー工業士(第3期生)認定証授与式の開催結果について
【産業人材課】 7
- 技能体験イベント及び技能関係表彰の実施について
【産業人材課】 8
- 令和8年度産業人材育成センター入校選考試験における解答用紙への正解の誤記載について
【産業人材育成センター】 9
- 民工芸等の情報発信に係る主な取組について
【販路拡大・輸出促進課】 10

商 工 労 働 部

県外企業の立地決定等について

令和7年11月21日
立地戦略課

県外企業の新規立地や過去に誘致した企業の県内での更なる増設、先駆的な事業を行う県外企業のオフィス開設等、県内で4件の新增設が決定しましたので報告いたします。

○ 県外企業の新規立地

1. (株)テクノス

(1) 企業概要

- ①所在地 岡山県総社市東阿曾 1289-1 代表取締役 藤井 範之 (ふじい のりゆき)
- ②資本金等 資本金 10,000 千円、売上高 1,155,163 千円、従業員 120 人(グループ全体)
- ③事業概要 金属等の精密切削加工 (電気自動車(EV)、半導体製造装置、航空機の部品等)

(2) 立地経緯・概要

- ・EV、半導体製造装置、航空機の部品等の受注拡大に対応するため、鳥取市に鳥取工場を新設。
- ・県の積極的な誘致活動や支援体制、県立ハローワークの取組等に好印象を持たれ進出を決断。
- ・産業未来共創補助金(補助率 15%(土地・建物同時取得加算適用))で支援予定。投資額約 13 億円。

所在地 鳥取市本高 290-1
竣工予定 令和8年5月操業開始予定
雇用人数 操業開始時 10~20 名、将来的には 30~40 人規模を計画
事業内容 アルミニウム、金属等の精密切削加工



半導体製造
装置用部品

○ 誘致企業の県内での増設

2. ミネベアミツミ(株)

(1) 企業概要

- ①所在地 長野県北佐久郡御代田町大字御代田 4106-73、[米子工場] 米子市二本木 210 番地 5
代表取締役 会長 CEO 貝沼 由久 (かいぬま よしひさ)
- ②資本金等 資本金 68,258,000 千円、売上高 1,522,703,000 千円、従業員 83,256 人(グループ全体)
- ③事業概要 ボールベアリング、モーター、半導体等幅広い事業を展開する総合精密部品メーカー

(2) 立地経緯・概要

- ・車載用モーターの市場拡大等を背景に研究開発部門の強化を図るため、米子工場内に新棟を建設。
- ・同社モーター事業のマザー工場として、U・I ターン技術人材等の獲得を促進し開発力を強化する。
- ・産業未来共創補助金(補助率 10%(基本補助))で支援予定。投資額約 27.8 億円。

所在地 米子市二本木 (米子工場敷地内)
竣工予定 令和8年7月竣工予定
雇用人数 22 名の雇用増を計画 (現在の米子工場 約 280 名)
事業内容 自動車、電気製品、ロボット等多種多様な製品に
使用されるモーターの開発・製造



新棟完成
イメージ

3. 菊田印刷(株)

(1) 企業概要

- ①所在地 大阪府豊中市利倉 3 丁目 10 番 34 号、[鳥取工場] 鳥取市湖山町東 3 丁目 100 番地
代表取締役社長 溝口 仁志 (みぞぐち ひとし)
- ②資本金等 10,000 千円、売上高 400,000 千円、従業員 41 人
- ③事業概要 印刷業 (オフセット印刷、UV 印刷、オンデマンド印刷、製本等)

(2) 立地経緯・概要

- ・人気アニメグッズの需要拡大に伴い生産能力を強化するため、鳥取市南吉方に第二工場を建設。
- ・紙印刷の他、独自印刷技術を使ったアニメキャラクターのキーホルダーやバッジ等の製造を強化。
- ・産業未来共創補助金(補助率 15%(土地・建物同時取得加算適用))で支援予定。投資額約 3.5 億円。

所在地 鳥取市南吉方 (旧鳥取三洋電機跡地の一部)
竣工予定 令和8年3月竣工予定
雇用人数 約 20 名の雇用増を計画 (現在の鳥取工場 約 30 名)
事業内容 アニメグッズ (アクリルスタンド、キーホルダー等) 製造



人気アニメ製品
(アクリルスタンド)

○ 先駆的な企業のオフィス開設

4. (株) D○○○ x

- ①所在地 東京都品川区西五反田 8 丁目 4 番 13 号 五反田 J P ビルディング
代表取締役 久保寺 亮介 (くぼでら りょうすけ)
- ②事業内容 企業経営課題の実行支援、新規事業の立ち上げや地域課題解決事業、海外事業 等
- ・全国 2 つ目となる地方拠点となる令和 7 年 9 月に鳥取市浜坂 (SANDBOX TOTTORI) に開設。
- ・先駆型ラボ・誘致育成補助金(オフィス設置型 200 万円(補助率 1/2))で支援予定。

※今月鳥取市と連携し全国の企業を集めた鳥取視察ツアーを企画開催。地域に密着した取組を開始。

「とっとり産業未来フェス」の開催結果について

令和7年11月21日
産業未来創造課

県内外の優れた技術や製品等を広く情報発信し、企業や県民が価値を共有することで、産学官の交流機会の創出や、未来の産業を担う若者の県内定着に寄与することを目的に、ものづくり・IT 先端技術・音楽等を融合した県内最大規模の総合イベント「とっとり産業未来フェス」を開催しました。

昨年度に続き2回目の開催となる今回は、好評を博した大阪・関西万博再現イベントの開催、新たな取組として、大手メーカー等を招聘した技術相談会や、県内実業系高校と連携した見学ツアーの実施など、出展企業のニーズに沿った内容を盛り込んで実施。2日間で延べ1万人を超える方に御来場いただき大盛況となり、高校生・保護者が県内企業の技術を直接知る機会となったほか、出展企業同士で新たな商談が生まれるなどの成果が生まれました。

1 日 時 令和7年11月3日(月・祝)、4日(火) ※両日とも午前10時から午後5時まで

2 場 所 米子コンベンションセンター(米子市末広町)

3 主 催 鳥取県 協力：県情報産業協会、BSS 山陰放送

4 後 援 鳥取大、鳥取環境大、米子高専、県商工会議所連
合会、県商工会連合会、県中小企業団体中央会、
県産技センター、県産業振興機構、県発明協会、
日刊工業新聞社岡山支局、米子市、県教育委員会

5 出展物 100を超える出展・イベント
(展示企業・団体：65社(うち県内48社))

6 来場者 2日間延べ10,110人(1日目：6,280人、2日目：3,830人)

7 イベント詳細



場 所	内 容
多目的ホール ・ホワイエ	【展示】 ・IT 先端技術ゾーン 人を乗せる四足歩行ロボットやヒューマノイドロボットをはじめとした先端技術の体験 ・GX (ものづくり) ゾーン 地球にやさしい最新技術や県内のものづくり企業の技術、製品の展示・体験 ・フードテックゾーン 県内食品企業やフードテック関係機関の出展・試食 ・宇宙ビジネスゾーン 宇宙にかかわる技術の展示・体験 ・コンテンツ産業(講談社) コーナー 「とっとりクリエイターズ・ビレッジ」の作品体験 【大阪・関西万博/ステージコーナー】 (3日) ・オープニングセレモニー ・「ととりのひみつ」大阪・関西万博で大盛況だった鳥取県の催事イベントを再び! (4日) ・鳥取県脱炭素技術研究会 基調講演①「電池依存の常識を疑え」EVワイヤレス給電協議会 会長 堀 洋一氏 基調講演②「カーボンニュートラル実現に向けたマルチパスウェイの取り組み」 トヨタ自動車(株) CN システム開発部 CN システム企画室長 亀山 悟氏 ・サプライチェーンCO2 排出量見える化・削減の最新動向 ・とっとりドローン活用推進セミナー
小ホール	(3日) ・CATCH the STAR ミュージックフェス 2025 参加者による演奏発表 ・若者世代に人気のアーティスト3組による音楽フェス(夜々、エイハブ、YUTORI-SEDAI) (4日) ・とっとり産業未来シンポジウム(田村淳 講演会「即動力」、パネルディスカッション) ・(株)講談社×鳥取県「とっとりクリエイターズ・ビレッジ」プロジェクト成果発表会
ロビー・構内 駐車場他	・鳥取県EV 実験車両、水素自転車乗車体験会 ・キッチンカーマルシェ

(本年度の新たな取組)

○大阪・関西万博で好評だった本県の地域資源や固有技術を紹介する体験型イベントを再現。

【ひみつシリーズ】

カニ(甲陽ケミカル㈱、㈱マリンナノファイバー)、AI クイズ(リコーIT ソリューションズ㈱)
けん玉(㈲米村木工)、ごむ(NOK㈱)、きのこ(㈱伯耆のきのこ)



○トヨタグループ6社を招聘し、出展企業の販路開拓、技術開発に資する相談・交流会を開催。

○今年度から人材確保等の観点で、県内実業系高校の生徒・保護者に出席ブースを紹介する取組を実施。

【見学ツアー】

<11/3(月・祝)>米子工業高等専門学校(21名)、米子工業高等学校(生徒15名)が参加

<11/4(火)>米子工業高等学校の生徒4名が参加

【授業の一環】

<11/4(火)>境港総合技術高等学校の計36名が授業の一環として参加 ※大型バスを運行



8 イベント参加に関する主な意見・感想

(1) 来場者

- ・大型ロボットなど、普段見れない最先端なロボットが見れて大変良かった。(40代)
- ・新しい技術と地元のつながりはとても大事なので、ぜひ続けて欲しいです。(50代)
- ・新技術を知るきっかけになりました。県内企業への就職もいいなと考えるようになりました。(高校生)

(2) 出展者

- ・トヨタの方や普段は接点の無い他業種の方とも面談が出来て非常に有意義であった。また、米子高専の学生等にもブースに来ていただきリクルート活動にもなった。普段は企業単独でPR活動を地道にしているが、この様に華やかなイベントに参加でき大変よかった。(GX・ものづくりゾーン出展企業)
- ・体験型ブースは子どもから好評で多くの方にご来場いただいた。(宇宙ビジネスゾーン出展企業)

(開催風景)



令和7年度鳥取県障がい者雇用推進会議の開催結果について

令和7年11月21日
雇用人材局雇用・働き方政策課

県内の障がい者雇用の状況及び課題を共有し、必要な支援策等について協議する「鳥取県障がい者雇用推進会議」を開催しましたので、報告します。

1 日 時 令和7年10月14日（火）午前10時30分から正午まで

2 場 所 県庁特別会議室（オンライン併用）

3 参加者 副知事（会長）、経済団体、障害者就業・生活支援センター、障がい者職場定着推進センター、就労移行支援事業所、鳥取労働局、鳥取障害者職業センター、市長会、町村会、県関係部局、教育委員会

4 内 容

県内の障がい者雇用の状況、障がい者の就労・職場定着に向けた取組みについて情報共有を行った後、障がい者雇用の推進のための今後の対応について意見交換を行った。

5 会議での主な発言

＜経済団体＞

- ・障がい者雇用への企業の意識は高まっており、雇用率を更に高めていくには、技能や対人などの業務内容、資格・免許の可否等と個々の適性とを丁寧に追いながらマッチングしていくことが必要になってくる。定着できる働きやすい職場づくりは、雇用する企業側に求められる役割だと思う。
- ・中小企業は、大企業と比較して業務内容が限られる中で、どのように障がい者の特性に合致する業務を創出していくのかといったところが一番の課題と考えており、県内企業の優良事例など横展開を図っていただき、支援機関とも連携しながら対応していきたい。
- ・受入環境整備やノウハウ不足等の課題を抱える中で、ガイドブックのバージョンアップには期待しており、経営層はもちろん従業員の方にも活用を周知したい。

＜支援機関＞

- ・支援機関の役割として、企業に必要な障がい者支援の知識やノウハウ、障がい種別による特性などを伝えていきたい。また、障がい者を初めて雇用する企業は、安心して雇用ができるようなサポート体制が必要なので、今まで以上に支援機関の役割や支援内容の情報共有、ジョブコーチ支援のあっせん等をしていきたい。
- ・障がい者の職場定着について、企業へのアプローチの1つとして、障がい者雇用を進めている企業の事例を共有していくことが有効と感じる。
- ・障がい者を職場全体で受け入れるために、一緒に働く社員に対して障がい者雇用のトップの意識を伝え、障がい特性や必要な配慮の理解を深めることが大切なので、社内理解や風土づくりを進めていくことへの支援も行っていきたい。

6 今後の対応

- ・県障がい者雇用アドバイザーが県内企業を訪問し、県内先進企業の好事例や参考となる取組みを紹介等し、ノウハウの横展開を図るとともに、令和8年7月から障がい者雇用義務の対象となる企業に対しては、制度の説明や、雇用に関する相談等に丁寧に対応するなどして、障がい者雇用の推進を働きかけていく。
- ・精神障がい者、発達障がい者の職場定着を進めるためのガイドブック「精神・発達障がい者とともに働くための接し方」（平成28年度作成）の年度内改訂・周知、障がい者雇用のためのガイドブック「ともに働く職場づくり」（令和4年度作成）のより一層の普及を通じ、引き続き、障がい者の職場定着の推進を図っていく。
- ・ジョブコーチ（職場適応援助者）の育成を進めるとともに、活用が広がるよう、関係機関と連携して、周知を進めていく。

第45回全国障害者技能競技大会（アビリンピック）での受賞について

令和7年11月21日
雇用人材局雇用・働き方政策課

令和7年10月17日（金）～19日（日）に開催された第45回全国障害者技能競技大会（アビリンピック）に鳥取県選手団5名が参加し、2名の受賞がありましたので報告します。

1 第45回全国障害者技能競技大会（アビリンピック）概要

全国障害者技能競技大会（アビリンピック）は、障がい者（15歳以上）が日頃培った技能を競い合うことにより、一人ひとりの職業能力の向上を図るとともに、企業や一般の人々に障がい者への理解と認識を深め、その雇用の促進を図ることを目的として、毎年開催されています。

※「アビリンピック」とは、「アビリティ（能力）」と「オリンピック」を合わせたもの。

- (1) 日程 令和7年10月17日（金）～19日（日）の3日間
- (2) 開催場所 愛知県国際展示場（愛知県常滑市）
- (3) 競技種目 25種目（このうち、喫茶サービス、製品パッキングを含む5種目に出場）
- (4) 参加選手数 440人（鳥取県5名参加）

2 競技の結果

＜当日の競技の様子＞

- (1) 喫茶サービス（競技参加者数：46名）

銀賞：尾崎 心春（おさき ここは）さん

※模擬喫茶店で、来店されたお客様に対して接客サービスを提供する競技。お客様の立場に立ち、正確かつスムーズな対応、お客様がくつろいで過ごせるサービスの提供が重要となる。

- (2) 製品パッキング（競技参加者数：25名）

銅賞：山本 愛斗（やまもと まなと）さん

※商品を運ぶための梱包作業を想定し、箱や緩衝材の組立と梱包を行う競技。梱包の見栄えと指定された製品が正確にセットされているかが審査のポイントとなる。

山本さん

尾崎さん



＜全国大会鳥取県選手団（計5名）＞

全国大会へは、6月26日に鳥取市で開催された、第42回アビリンピック鳥取大会（39名が出場）の金賞受賞者が出場しました。

競技種目	選手名	全国大会出場回数	所属
喫茶サービス	尾崎 心春	2回目	コメダ珈琲店鳥取立川店
製品パッキング	山本 愛斗	4回目 ※	ヤマト運輸（株）倉吉営業所
ワード・プロセッサ	下田 健護	初出場	パナソニックアソシエイツ鳥取（株）
ビルクリーニング	松田 峻	初出場	鳥取県立琴の浦高等特別支援学校
パソコンデータ入力	藪内 悟	2回目	鳥取県立倉吉農業高等学校

※山本選手は、通算4回目の出場で過去入賞経験あり（R3 銅賞、R4 銀賞、R5 銀賞）。

令和7年度スーパー工業士(第3期生)認定証授与式の開催結果について

令和7年11月21日
雇用人材局産業人材課
高等学校課

AI等の先進技術を活用できる次世代ものづくり人材を育成する県独自の認定プログラム「鳥取県スーパー工業士」の第3期生の認定及び認定証授与式を開催しましたので報告します。

1 令和7年度鳥取県スーパー工業士(第3期生)認定証授与式の概要

- (1) 日 時：令和7年10月27日(月)午後1時30分から午後2時
- (2) 会 場：県立図書館大研修室
- (3) 出席者：スーパー工業士認定者 23名、学校関係者
(鳥取工業高校10名、鳥取湖陵高校2名、
倉吉総合産業高校1名、米子工業高校10名)
- (4) 次 第：認定証授与、副知事挨拶、認定者代表挨拶
- (5) 認定日：令和7年8月28日

[認定者のコメント]

- ・AIの活用には正確なデータの扱いと論理的視点が必要だと学んだ。
今後は、AIを活用し、環境に優しい社会づくりに貢献したい。

[関係者のコメント]

- ・ロボット演習の際に障害物の検知方法について質問したところ、生徒から非常に具体的な回答があり、よく考えて取り組んでいる様子が感じられた。(スーパー工業士認定制度運営委員会委員)
- ・時間を要すると思われた配線作業もスムーズに終え、ロボットの走行実験についても、床などの環境要因を考慮しながら熱心に取り組んでいた。(AI・ロボット演習担当 鳥取大学工学部教授)



2 鳥取県スーパー工業士制度の概要

- (1) 目的：生産現場においてAIをはじめとしたデジタル技術を活用できる次世代人材を育成するため、県独自の認定プログラムで学んだ工業高校の生徒を県が「スーパー工業士」として認定することで、認定者の就職や進学などのキャリア形成を支援する。
- (2) 認定要件：(ア) 認定プログラムを修了すること (イ) 高校の成績が優秀であること
- (3) 認定時期：3年生の夏
- (4) 認定プログラム

実施時期	認定プログラム	学習内容
2年生 (下期)	システムデザイン研修 (オンラインライブ講義)	AIの基礎のほか、システムの基本的な構成要素、システム設計を行うための視点・考え方などを学び、AIツールを活用した画像判別システムを試作。
	データサイエンス研修 (オンライン動画学習)	「社会におけるデータ・AI利活用」、「データリテラシー」、「データ・AI利活用における留意事項」を学習。(オンライン動画学習Udemy/高校生の活用は全国初)
3年生 (上期)	AI・ロボット演習 (鳥取大学工学部集合演習)	システムデザインやデータサイエンス研修を踏まえた総括演習として、移動ロボットを使い、障害物をAIで画像判別する衝突回避アルゴリズムを構築。

[AI・ロボット演習(鳥取大学工学部)の様子]



(5) 認定者への支援措置

スーパー工業士キャリア支援補助金：デジタル関連の資格取得等の費用を最大15万円(10/10)支援

- (6) 実績 第1期・第2期認定者31名の進路 進学21名(うち、県内3名)、就職10名(うち、県内5名)
※進学した過年度認定者に対し、県内就職促進に向けた情報提供(県内就職イベント、企業インターン情報の案内等)を実施

- (7) 今後の取組 令和7年10月から第4期生が受講を開始(県下4校21名が参加)

技能体験イベント及び技能関係表彰の実施について

令和7年11月21日
雇用人材局産業人材課

厚生労働省が例年11月を「人材開発促進月間」、同月10日を「技能の日」とし、国及び都道府県において職業能力開発の向上促進及び技能振興の取組を強化していることに合わせて、本県においても技能体験イベント及び技能関係表彰を実施しましたので報告します。

1 技能体験イベントの開催

(1) 鳥取県技能祭の開催

次世代を担う子どもたちに将来の職業としてもものづくりの世界を目指す動機付けとすることを目的に技能職の体験イベントを開催した。

次年度以降も、引き続き、鳥取県内における技能人材の確保のために、特に若年層への技能の普及啓発や魅力発信に取り組んでいく予定です。

〈開催日〉 令和7年10月19日（日）

〈場 所〉 ポリテクセンター鳥取（鳥取市若葉台）

〈主 催〉 鳥取県技能祭実行委員会（県技能士会連合会、ポリテクセンター鳥取、鳥取県等で構成）

〈入場数〉 約1,500人（子ども連れ家族が中心）

〈主な出展〉

- ・ミニ畳づくり体験（畳振興技能士会）
- ・鉄骨専用CAD体験（鉄構工業会技能士会・青年部会）
- ・親子木工教室（建築技能近代化協会）
- ・生徒が製作したロボット操作体験（鳥取工業高等学校）
- ・訓練生が製作したゲーム機体験（県産業人材育成センター）
- ・技能の仕事を紹介するビデオ上映（技能士会連合会）

〈参加者の声〉

- ・普段子どもが触れることのできない技能を体験できました。
- ・思ったより本格的な体験内容でとても良い経験になりました。
- ・短時間で職人の仕事体験ができてとても満足でした。興味をもって楽しめました。



（ミニ畳づくり体験）

(2) 技能体験会の実施

中学生、高校生をはじめとした若い世代や離職者を対象に、仕事の説明及び作業体験を実施した。

実施日	7月24日（木）	8月6日（水）
職種	内装仕上げ	建築大工
参加者	高校生2名	高校生2名、中学生1名
内容	壁紙糊付け・壁紙貼り付け作業	建前体験、かんな削り、木工作業
参加者の声	・現場を見たり、実際に体験する機会がないので職業を知るのにとっても役に立ちました。（内装仕上げ） ・技術一つ一つの凄さを感じることができました。（建築大工）	



（壁紙貼り付け作業）

2 令和7年度技能関係表彰

技能職の地位向上を図り、技能振興・技能承継の推進を目的に国及び本県において優れた技能を有する者等を表彰している。

(1) 職業能力開発関係厚生労働大臣表彰

技能振興、技能検定に永年にわたり多大な貢献があった団体・個人を表彰

【技能振興関係】（優良事業所）（有）開拓 ノムラ看板工房

【技能検定関係】（優良事業所）（株）技工社

（功労者）宮平 和浩 氏（（有）宮平塗装店 代表取締役）

(2) 人材開発行政関係功労者厚生労働大臣表彰

人材開発行政に係る施策の推進に顕著な功績があった個人を表彰

○鳥取県職業能力開発協会副会長 齋木 憲久 氏（（株）明治製作所 代表取締役社長）

(3) 鳥取県知事表彰（令和7年11月18日に中原副知事から表彰授与）

表彰・認定名	表彰の対象	氏名（職種）
優れた技能者	県内屈指の優れた技能を有する方を表彰	古川 典弘 氏（造園） 山本 秀人 氏（石材施工）
鳥取県高度熟練技能者認定	製造業の職種において優れた技能を有し、後進育成に意欲のあるもの	大村 彰 氏（機械加工） 提嶋 恭子 氏（金属熱処理） 早川 航一朗 氏（機械保全）



その他、技能検定事業功労者（3名）・協力事業所（4事業所）、技能検定成績優秀者（7名）を表彰

令和8年度産業人材育成センター入校選考試験における解答用紙への正解の誤記載について

令和7年11月21日

産業人材育成センター

令和7年11月14日（金）に実施した産業人材育成センター倉吉校及び米子校における令和8年度入校選考試験（新規学卒者対象）の学科試験で、解答欄の一つに正解が記載された解答用紙を受験生に配布していました。今後はこのようなことがないように再発防止策を徹底します。

1 事案の概要

- （1）正解が記載されていた問題 国語の試験問題の中の1問
- （2）記載されていた内容 選択肢問題の正解
- （3）受験者数 倉吉校：11名
米子校：21名

2 判明の経緯

米子校の試験会場において、受験生が試験中に解答欄に解答が記載されていることを試験官に伝えたことで判明した。

また、倉吉校においても受験生から同様の指摘があった。

3 事案の発生原因

選考試験問題は専門の事業者にて作成を依頼し、「試験問題」、「解答用紙」及び「正解の記載された解答用紙」が納品されたが、解答用紙について解答欄に正解が1問記載された状態で納品されていた。

担当職員は、納品物の検査を行い、また、別の職員も納品物を確認したが、納品時及びその後の確認が十分でなく、解答欄に正解が記載されていたことに気が付かず、そのまま試験に使用した。

4 選考試験における対応

解答の記載された問題は、受験生全員を正解とし、試験終了後に受験生全員に電話等で誤記載をお詫びするとともに全員正解とすることを伝えた。

さらに、受験者全員にお詫びの文書を別途送付した。

5 再発防止策

納品された納品物の検査は、倉吉校の複数の職員で検査していたが、今後は、倉吉校での検査と併せて米子校でも複数職員による検査を行うこととし、両校でのチェック体制を徹底する。

民芸等の情報発信に係る主な取組について

令和7年11月21日
販路拡大・輸出促進課

鳥取県の民芸及び日本酒の知名度向上、ブランド化を図るため、次のとおり国内外において情報発信を行っていますので報告します。

1 国内での情報発信

(1) 大阪・関西万博会場でのPRイベントの開催

① 県産日本酒試飲イベントの実施

関西パビリオン多目的エリアで7月に開催された「とっとりフェス〜お祭り縁日」において、県産日本酒の有料試飲イベント「とっとり地酒まつり」を行い、強力で醸した酒など純米酒の魅力をPRした。

期間 7月15日(火)～17日(木)

場所 大阪・関西万博関西パビリオン多目的エリア

出展 県内の9蔵、日本酒18種類

② 伝統工芸品ブース出展

同多目的エリアで8月に開催された「とっとりフェス〜お祭り縁日」において、鳥取県伝統工芸士会と連携して伝統工芸品の販売及び染め和紙体験を行った。

期間 8月19日(火)～25日(月)

場所 大阪・関西万博関西パビリオン多目的エリア

出展 7事業者(因州和紙、陶磁器、漆器)



とっとりフェスオープニングセレモニー鏡開き

(2) 燗椀グランプリ&フェスの開催

燗付けした県産日本酒と県産食材を使った酒肴とのマリアージュを競うコンテストと、鳥取駅前風紋広場を会場とした、県内10蔵が提供する燗酒の有料試飲「とっとり地酒館」や、燗酒の魅力を知るトークショーなどのイベントを開催し、県内外に本県の燗酒の魅力をPRした。

期間 10月25日(土)

場所 ホテルニューオータニ鳥取、J R鳥取駅前風紋広場(鳥取市)

出展 県内の10蔵、日本酒24酒類 ※とっとり地酒館への出展

(3) 弓浜緋伝統的工芸品指定50周年記念「もっと知りたい弓浜緋」の開催

弓浜緋として国の伝統的工芸品に指定されてから50周年となることを記念し、一連の制作工程を体験できるコーナーや、弓浜緋の楽しみ方、弓浜緋職人の紹介など、弓浜緋の魅力をPRを実施中。

期間 11月7日(金)～24日(月・祝)

場所 海とくらしの史料館(鳥取県境港市)

2 国外での情報発信

(1) フランスでの民芸品PR

① 鳥取県民芸展示会及び情報発信

世界各国に10万人を超えるフォロワーを有するフランス人インフルエンサー「マミーブドゥ」による情報発信とオンライン販売、セレクトショップ「オープンミー」での展示販売会を開催した。

期間 10月2日(木)から開催中(商品がなくなり次第終了)

内容 ・民芸の工房や商品等をInstagramで情報発信、陶磁器等のオンライン販売

・陶磁器、弓浜緋、因州和紙、庖丁、竹製品等の展示販売

② 鳥取県PRレセプション「鳥取ナイト in Paris」での民芸PR

期間 11月12日(水)

内容 在仏日本国大使館の共催で、大使公邸を会場に、現地マスコミ、飲食店関係者、旅行関係者等を招聘したプロモーションイベントにおいて、フランス人インフルエンサー「マミーブドゥ」により本県民芸の魅力をPRした。



レセプション会場での民芸品展示